

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

10月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ インフルエンザ 報告数は45件（前月比2.1、前年同月比2.5）でした。本年の2月をピークに減少していましたが、10月に入り増加に転じました。学級閉鎖の報道もみられるようになりました。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は3,140件（前月比0.82、前年同月比0.79）と2月をピークに減少しています。感染性胃腸炎（前月比1.1）は前月とほぼ同様ですが、RSウイルス感染症が前月比0.6と低下したことが要因です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 859件（前月比0.6、前年同月比1.9）と先月よりは減少しています。例年12月に増加しますのでまだ注意が必要です。有明（32.2）八代（31.8）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
2. 咽頭結膜熱 : 115件（前月比0.7、前年同月比2.5）で、8月をピークに減少傾向です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 174件（前月比1.1、前年同月比0.8）で、6月にピークがありましたがほぼ例年同様のレベルにあります。
4. 感染性胃腸炎 : 961件（前月比1.1、前年同月比0.6）で、昨年12月をピークに減少していますが、例年年末に向けて増加傾向にあり注意が必要です。山鹿（48.0）、菊池（47.8）からの報告が多いです。
5. 水痘 : 60件（前月比1.3、前年同月比0.9）で、2月以降ほぼ横ばいです。定期接種が開始されて3年になりますが、ほぼ低水準で経過しており、全国的な傾向と同じです。
6. 手足口病 : 402件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、一昨年と同様7月にピークがあり減少傾向です。全国的にも1年おきに流行が見られています。有明（21.0）菊池（14.6）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
7. 伝染性紅斑 : 4件（前月比0.6、前年同月比0.2）で、7月以降10件以下が続いています。
8. 突発性発疹 : 108件（前月比1.0、前年同月比0.8）でした。例年とほぼ同様の傾向で、この3年間、通年性に発症の報告がありますが、やや夏に多い傾向があります。
9. 百日咳 : 0件（前月比-、前年同月比-）です。7月に4件でしたが、再び減少傾向です。
10. ヘルパンギーナ : 152件（前月比0.5、前年同月比1.0）で、7月をピークに減少しています。例年同様にほぼ収束傾向にあります。
11. 流行性耳下腺炎 : 86件（前月比1.0、前年同月比0.2）で、今年に入り低水準で経過しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。

2. 流行性角結膜炎 : 報告数 53 件(前月比 0.7、前年同月 0.5)と減少しています。年齢別では 30~49 歳にピークがありますが、乳幼児層に流行の兆しはありません。熊本 46 件、菊池 2 件、有明 5 件の報告です。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :

報告数 51 件(前月比 0.8、前年比 1.1)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性 27 件、女性 24 件でした。年齢別は、男性は 15~70 歳以上と幅広い年齢に見られ、女性は 15~34 歳に見られます。地域別は、熊本が 40 件、次いで御船、宇城各 3 件、菊池、有明各 2 件、八代 1 件でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :

報告数 18 件(前月比 1.2、前年比 0.7)で前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性 8 件、女性 10 件でした。年齢別は、男女共に 20~70 歳以上に見られ、男女共に幅広い年齢に見られます。地域別は、熊本 11 件、次いで八代 5 件、菊池、宇城各 1 件でした。

3. 尖圭コンジローマ :

報告数 7 件(前月比 0.7、前年比 1.2)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性 6 件、女性 1 件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は 20~64 歳に見られ、女性は 30~34 歳に見られます。地域別は熊本 6 件、宇城 1 件でした。

4. 淋菌感染症 :

報告数 19 件(前月比 1.6、前年比 0.9)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性 15 件、女性 4 件で男性に多く見られます。年齢別は、男性は 20~64 歳に見られ、女性は 25~39 歳に見られます。地域別は、熊本が 14 件、次いで宇城 2 件、八代、人吉、有明各 1 件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :

報告数は 16 件(前月比 : 0.7、前年同月比 : 0.9、男女比 : 14/2)で 3 月をピークに減少・横向き推移にあります。熊本地区(6)、阿蘇地区(6)、八代地区(3)、天草地区(1)と広範囲に認めます。70 歳以上(13)をピークに 60 歳以上で集中して検出されました。

▼H27, 28 と比較して例年通りの横向き推移です。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :

報告数は 2 件(前月比 : 0.5、前年同月比 : 0.7、男女比 : 1/1)で 5 月以降減少傾向にあります。熊本地区(1)、山鹿地区(1)の報告でした。1-4 歳(1)と 65-69 歳(1)でした。

▼H27, 28 に比較し少な目で横向き推移です。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :

報告数は 0 件(前月比 : -, 前年同月比 : -, 男女比 : -)でした。前月に引き続き報告はありませんでした。

▼H29. 3 月(1)以降引き続き報告はありません。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 :

報告数は 1 件(前月比 : -, 前年同月比 : 0.3)でほぼ例年通りの推移と言えます。熊本地区からの報告で 55-59 歳(1)でした。

▼H27, 28でも今後の増加傾向にありますので留意が必要です。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数は2件（前月比：0.5、前年同月比：0.2）で8月以降減少経過にあります。熊本地区(2)からの報告でした。0歳(2)でした。
▼H27, 28に比べて早めの減少経過となっています。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は5件（前月比：0.4、前年同月比：0.1）で横向き推移となっています。人吉地区(2)、熊本・水俣・天草地区(1)からの報告で1-4歳(1)、5-9歳(1)、30-34歳(1)、70歳以上(2)でした。
▼H27, 28とは異なり横向き推移で報告が少ない状況です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で前月に同様、報告はありませんでした。
▼H28. 12月(1)のみでした。引き続き報告はありません。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で4月をピークに引き続き8月以降報告はありませんでした。
▼H27では今後の増加傾向、H28では引き続き横向き推移でした。留意が必要です。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	21件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	2件
4類感染症	： 日本紅斑熱	2件
	レジオネラ症	7件
5類感染症	： アメーバ赤痢	2件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
	後天性免疫不全症候群	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	水痘（入院例）	1件
	梅毒	2件
	破傷風	1件